

課所室業務棚卸総括表

平成16年度(前期)行政経営会議用 様式2

年度	16	部局	課所室	担当(係)	作成者(職)	(氏名)	(連絡先)	棚卸表コード	No.
作成日	7月20日	消防本部	警防課	警防担当	-	-	-	2消警01	3

業務名称	警防業務	成果指標	実績(H15)	目標(H17)	人工数(人)	予算(千円)
上位目的	あらゆる災害における人的物的被害を軽減する。	死傷者数	52人 (死者7人 傷者45人)	0人	50	58,946
担当業務目的	即時対応可能な出動態勢の維持、現場活動時の装備・施設等の整備により、消防体制の強化を図る。	延焼率(全焼 半焼棟/全類焼棟)	15% (4/26)	0%	50	58,946

活動概要(担当業務目的達成のための手段(2桁レベル))				事業費(千円)	備考欄
活動における指標	実績(H15)	目標(H17)	担当業務目的達成のための主な手段(4桁レベル)		
01 消防水利の新設、修理を行い水利の充実を図る。				11,415	(消防水利整備事業) (1) 未充足地域の調査に基づく現状の把握 (2) 交通上障害のある消火栓の実態把握 移設要望がある消火栓調査の実施 (3) 老朽化が著しい防火水槽の実態調査
消火栓 防火水槽新設数	19基	11基	(1) 消防水利の未充足地域への消火栓の新設を行う (2) 既存消火栓が交通障害等により折損頻度が激しいものを移設する。 (3) 漏水など損傷の著しい防火水槽の修繕を行う		
02 災害活動を支援するために各種装備品の整備を図る。				16,316	(災害安全装備品整備事業) (1) 防火衣の活動性についての実態把握、全体数および配置状況の把握 救助服の配置状況ならびに消耗度の調査 水難救助資器材の配置状況ならびに消耗度の調査 (消防特殊器具備品購入事業) (2) 資器材の有効期限の把握ならびに消耗度の調査 適正配置の実態調査および検討 (消防団用器具備品等購入事業～消防団活性化事業) (3) 市内25分団の防災活動用資器材の配置状況の把握および整備
配備率	23%	51%	(1) 防火衣を上下型にし、災害現場での安全性を高めるとともに、消耗度の著しい救助服ならびに、水難救助資器材を整備する。 (2) テロ対策等各種災害に対応するための資器材を整備する。 (3) 地震等の大規模災害時における活動資機材を整備する。		
03 緊急援助体制の整備を図る。				31,215	(緊急援助隊整備事業) 登録車両の現状把握および検討 ニーズの把握 老朽車両の更新
充足率	100%	100%	県都・中核市の消防本部として、地震等大規模災害発生時に対応、援助のできる体制と必要資機材を整備する。		